

様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 4年次5月～11月
②	教育実習等の実習期間・総時間数 「教育実習（中・高）Ⅰ・Ⅱ」3週間（120時間程度） 「養護実習」3週間（120時間程度）
③	<p>実習校の確保の方法</p> <p>i) 併設の光華小学校・京都光華中学校・京都光華高等学校への受入れ依頼</p> <p>ii) 京都市教育委員会への配当依頼</p> <p>教員採用試験を目指して早い段階から自治体の様子を知ることが目的とした場合や、通学時間の関係で京都市での実習が困難な者に限り、自己確保による実習も考慮する。この場合、当該校の実習受入れ体制が十分であることを確認し、本学と実習校の連絡を綿密に行い、特に遠方での実習については、よりきめ細やかなフォロー体制で指導する。</p>
④	<p>実習内容</p> <p><中一種免・高一種免></p> <p>これまでの教職課程における教科及び教職に関する科目の学びを基にし、学校現場で教育実践することで、教職の意義、教員の役割と職務について理解することに加え、教科指導や生徒指導、学級運営に関わる実践的能力を養い、教員として求められる資質能力を身につける。また、教育実践の体験に基づき、教育実習生自らが教職への適正や進路について考える機会とする。教育実習では、以下の点について重点的に指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義：教育への熱意や教育的視座の獲得に関すること ・教員としてのあり方：教員としての態度、教育上の責任、校務の遂行に関すること ・教科指導：教科の目標と身につけるべき学力、教材研究、授業技術とその工夫に関すること ・教科外指導：生徒の個別指導、クラス運営、クラブ活動での指導に関すること <p><養教一種免></p> <p>以下の3つの大きな内容について実習することを指導している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導：基礎学力・知識・教材研究・工夫、指導態度・技術に関すること ・生活指導：個別・集団指導、児童・生徒へのかかわり、教科外指導に関すること ・実習態度：勤務態度・熱意、事務・実務能力、レポートなどの提出物、教育的視野に関すること

⑤ 実習生に対する指導の方法

<中一種免・高一種免>

教育実習期間中に、教育実習ならびに関連科目担当教員が実習校を訪問し、実習校の指導教員からの状況聞き取りや公開授業・研究授業への参加を通じ、実習校と連携して実習生の課題解決のために指導にあたる。実習中の指導や相談などの対応には、教職・保育職支援センターが窓口となり、学科の実習担当教員が対応にあたる。加えて、教育実習前後には様々な機会を設け、充実した実習となるように以下のような指導を行う。

- ・教育実習関連科目での複数回の模擬授業により教科指導力を高めるよう指導する。
- ・学校見学や授業観察、諸学校でのインターンシップやボランティア活動にあたる機会を複数設ける。
- ・教職・保育職支援センターにおいて相談や指導にあたる
- ・教育実習記録簿やレポートの提出、個別面談、教育実習報告会の実施など事後指導を行う。

<養教一種免>

様々な場面（機会）を通して、実習に関するあらゆる内容の指導を行う。

- ・理論面：教育実習資格基準を履修させる
- ・体験面：3年次に本学付属小・中・高等学校にて模擬授業を行う
府・市の公立学校のボランティア活動をさせる
- ・演習面：4年次前期に模擬授業を設定して演習を行う
- ・相談面：教職・保育職支援センターや卒ゼミ担当による相談指導
- ・事後指導：実習ノートやレポートの提出を通して、実習後の発表の場面を通じて指導

実習期間中の指導方法等については、近県（近畿圏）の場合、学科の教員が実習校を訪問し（遠方の実習校へは電話による）実習校と連携して教育実習生の課題克服のために指導と相談を行っている。また、実習中の指導・相談を教職・保育職支援センターが窓口となり、学科実習担当教員が対応できる体制を作っている。

⑥ 実習の成績評価（評価の基準及び方法）

※ 評価項目表、評価シートがある場合は、本計画書に添付すること。

<中一種免・高一種免>

■成績評価方法

教育実習評価 60%（実習校評価 30%、訪問教員評価 30% ※状況により訪問ができない場合は実習校評価のみで60%とする。評価票は、京都地区大学教職課程協議会にて審議検討された統一様式「教育実習成績報告票」を使用する<別添>。）

実習ノート 10%

事後レポート 30%

■成績評価基準

- ・実習の事前準備を十分に行ったか。
- ・実習校では、真摯に実習に取り組んだか
- ・実習校では、教育者として成果を得られたか
- ・実習の事後評価・改善活動を十分に行ったか

<養教一種免>

■成績評価方法

養護実習評価（実習校評価）90%

教育実習ノート 10%

■成績評価基準

- ・保健管理では、「学校保健に対する理解」「保健室の運営」「救急処置」「保健行事の運営」「環境衛生活動の実践」の各項目について4段階評価を行う。（実習校）
- ・保健教育では、「児童生徒への理解」「保健指導資料の作成」「保健指導（個人）」「保健指導（集団）」の各項目について4段階評価を行う。（実習校）
- ・実習態度では、「勤務態度・熱意」「事務・実務能力」「レポートなどの提出物」「教育的視野」の各項目について4段階評価を行う。（実習校）
- ・総合評価では、実習生としての努力と成果に着目して、A「よく努力して、実習の実をあげることができた。」、B「努力し実習の成果はあった。」、C「いま少しの努力と実習の成果が望まれる。」、D「全く努力に欠け、実習の成果は認められなかった。」の4段階評価を行う。（実習校）

2 事前及び事後の指導の内容等

① 時期及び時間数

<中一種免・高一種免>

事前指導は3年次後期と4年次前期に、事後指導は4年10月から11月にかけて、合計して15回（30時間）の講義・演習を行う。

<養教一種免>

4年次前期に事前指導、後期に事後指導を15講座（30時間）開講。

② 内容（具体的な指導項目）

<中一種免・高一種免>

第1回：イントロダクション～教育実習の意義と注意点

第2回：教育実習報告会（4年生の報告を聞く）

第3回：模擬授業準備（指導案作成）①

第4回：模擬授業準備（指導案作成）②

第5回：模擬授業①（歴史）

第6回：模擬授業②（地理）

第7回：模擬授業③（公民）

第8回：模擬授業④（公民）

第9回：模擬授業の振り返り

第10回：教科指導のポイント

第11回：模擬授業⑤（歴史）

第12回：模擬授業⑥（地理）

第13回：模擬授業⑦（公民）

第14回：模擬授業⑧（公民）

第 15 回：総括と振り返り

<養教一種免>

- 第 1 回 授業計画の説明 *養護教諭が行う保健教育(1) 教科保健・学級活動・保健だよりについて
- 第 2 回 養護教諭が行う保健教育(2) 学習指導案作成・資料作成・保健だより作成
- 第 3 回 保健室来室児童生徒への対応 (1) 主訴別対応のポイント 包帯法等
- 第 4 回 保健室来室児童生徒への対応 (2) 外科的・内科的主訴・健康相談への対応①
- 第 5 回 保健室来室児童生徒への対応 (2) 外科的・内科的主訴・健康相談への対応②
- 第 6 回 養護教諭が行う保健教育(3) 1人約 15 分の模擬保健教育①
- 第 7 回 養護教諭が行う保健教育(3) 1人約 15 分の模擬保健教育②
- 第 8 回 養護教諭が行う保健教育(3) 1人約 15 分の模擬保健教育③*「実習に臨むにあたって」作成
- 第 9 回 健康診断の知識と技術 身体計測・視力検査・聴力検査等 健康診断表の記録①
- 第 10 回 健康診断の知識と技術 身体計測・視力検査・聴力検査等 健康診断表の記録②
- 第 11 回 学校環境衛生検査の実際
- 第 12 回 実習の諸注意 *教育実習ノートの書き方 *お礼状の書き方
- 第 13 回 実習報告会 (前期実習)
- 第 14 回 実習報告会 (後期実習)
- 第 15 回 養護実習のまとめ (養護実習の学びを科目「教職実践演習」に繋げる。)

③ 教育実習等におけるハラスメントの防止等に関する学生への指導 (相談窓口の周知を含む) 及び学内の相談体制等について

相談窓口は教職・保育職支援センターや教育実習主担当教員 (もしくは巡回担当教員) とし、相談があった場合は速やかに実習担当教員が状況把握と実習校との情報共有・調整を行う。年次はじめの教職ガイダンスや事前指導にて注意喚起するとともに、事例を取り上げながら指導を行い、実習によるハラスメントを未然に防ぐ指導を行う。また、ハラスメントの有無については、教育実習巡回指導での面談や事後面談においても確認し、教育実習の適切な時間の管理についても実習ノートに詳細に記録させることで過剰な長時間実習が生じていないかチェックする。

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・ 委員会等の名称

「教職・保育職委員会」

- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

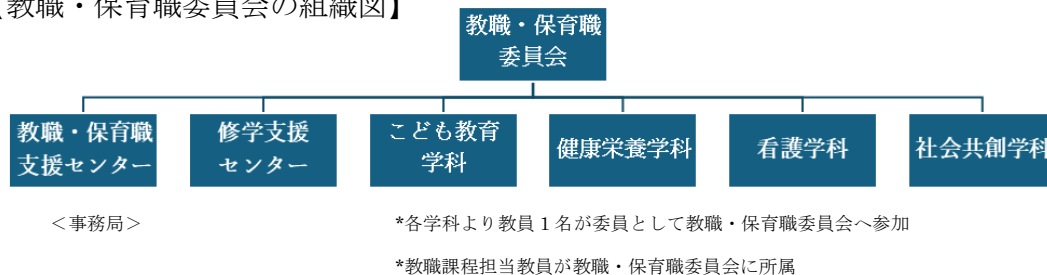
副学長、教務部長、教職課程及び保育職課程を有する各学科の委員、教職科目及び保育職科目担当教員から選出された委員、教職・保育職支援センター長及び副センター長、修学支援センター、教職・保育職支援センターを構成員とする。

合計人数：10人

- ・ 委員会等の運営方法

教職課程および教育実習の運営に関わる事案について全学的に共有し議論できる場として、年6回定例会をもつ。また、実習前後や実習中の問題発生時など、必要に応じて臨時に委員会を開催する。

【教職・保育職委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- ・ 委員会等の名称

「教職・保育職支援センター」

- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

センター長1名、専任事務職員（副センター長およびセンター職員）3名を配置している。センター長はこども教育学部こども教育学科長が兼務、副センター長は修学支援センター部長と兼務である。

合計人数：4人

- ・ 委員会等の運営方法

教育実習や介護等体験の充実を図るために、実習校や教育委員会、社会福祉施設等との連携を深めながら、各種に関わる手続き、ガイダンスなどを行う。全学の教職を目指す学生の履修登録から内定までをサポートしている。

京都地区大学教職課程協議会、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会へ加盟し、教職課程に関する事項につき、連絡・研究・協議すると共に、教育実習の実施のために必要な関係諸機関・諸団体等

得済みであること。

iii) 大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。

iv) 文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから2単位以上、計8単位以上を修得していること。

<養教一種免>

看護学科は、学科科目との両立の指導のため、1年次の通算 GPA2.8 を満たす学生のみ、2年次以降の教職課程の履修を認めている。

i) 教育の基礎的理解に関する科目

原則として3年次修了までに次の22単位を修得し、教育実習事前指導を受講していること。

- ・教職論 2単位
- ・教育原理 2単位
- ・教育心理学 2単位
- ・教育行政学 2単位
- ・特別支援教育 2単位
- ・教育課程論 2単位
- ・道德教育の理論と指導法 2単位
- ・特別活動及び総合的な学習の時間 2単位
- ・教育方法論（ICT活用を含む） 2単位
- ・生徒指導及び進路指導論 2単位
- ・教育相談 2単位

ii) 養護に関する科目

原則として3年次修了時までに、すべて単位を修得していること

iii) 大学が独自に設定する科目

原則として3年次修了時までに、すべて単位を修得していること

- ・人権教育

iv) 文部科学省令に定める科目

原則として3年次修了までに、免許法施行規則の4科目のそれぞれから2単位以上、計8単位を習得していること。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	中学校 77 学級、高等学校 26 学級、小学校（養護教諭）170 学級		
中学校・高等学校・養護教諭					
○	×	学校名	京都光華中学校（京都府京都市右京区西京極野田町 39） 学級数：5 生徒数：105 人		
		教員数	17 人 （内訳）教諭10人、助教諭0人、講師6人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人		
○		学校名	京都光華高等学校（京都府京都市右京区西京極野田町 39） 学級数：16 生徒数：300 人		
		教員数	55 人 （内訳）教諭31人、助教諭0人、講師23人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人		
○	×	学校名	光華小学校（京都府京都市右京区西京極野田町 39） 学級数：12 生徒数：246 人		
		教員数	19 人 （内訳）教諭17人、助教諭0人、講師1人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人		
○	×	教育委員会名	京都市教育委員会	小学校：150 校 小中学校：8 校	中学校：64 校 高等学校：10 校

教教セ第134号
令和7年1月10日

京都光華女子大学長 様

京都市教育長 稲田 新吾
(公印省略)

教育実習受入承諾書

京都光華女子大学の以下の学部・学科等において、令和8年度に新たに次の学部・学科・教職課程が開設された場合は、京都市立学校において教育実習生の受入れを承諾します。

学部・学科等名	社会学部 社会共創学科
免許状の種類	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）
摘要	京都市立中学校 64校 京都市立小中学校（後期課程） 8校 京都市立高等学校 10校 (令和6年5月1日現在)

教教セ第45号

令和7年6月3日

京都光華女子大学長 様

京都市教育長 稲田 新吾

(公印省略)

教育実習受入承諾書

京都光華女子大学の以下の学部・学科等において、令和8年度に新たに次の学部・学科・教職課程が開設された場合は、京都市立学校において教育実習生の受入れを承諾します。

学部・学科等名	看護福祉リハビリテーション学部 看護学科
免許状の種類	養護教諭一種免許状
摘要	京都市立小学校 150校 京都市立小中学校 8校 (令和6年5月1日現在)

令和7年1月28日

京都光華女子大学長 様

京都光華中学高等学校

学校長 澤田 清人

教育実習受入承諾書

京都光華女子大学の以下の学部・学科等において、令和8年度に新たに教職課程が開設された場合において、従来どおり、本校における貴学の教育実習生受入れを承諾します。

学部・学科等名	社会学部 社会共創学科
免許状の種類	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校一種免許状（公民）
摘要	<p>■京都光華中学校 学級数：5 生徒数：105人 教員数：17人 （内訳）教諭10人、助教諭0人、講師6人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人</p> <p>■京都光華高等学校 学級数：16 生徒数：300人 教員数：55人 （内訳）教諭31人、助教諭0人、講師23人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人</p> <p style="text-align: right;">（令和6年5月1日現在）</p>

令和7年 6月 3日

京都光華女子大学長 様

光華小学校

学校長 河原 聡子

教育実習受入承諾書

京都光華女子大学の以下の学部・学科等において、令和8年度に新たに教職課程が開設された場合において、従来どおり、本校における貴学の教育実習生受入れを承諾します。

学部・学科等名	看護福祉リハビリテーション学部 看護学科
免許状の種類	養護教諭一種免許状
摘要	<p>光華小学校 学級数：12人 生徒数：246人 教員数：19人（校長・副校長・教頭含む） （内訳）教諭17人、助教諭0人、講師1人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人</p> <p style="text-align: right;">（令和6年5月1日現在）</p>

教育実習成績報告票（中学校・高等学校）

令和 年 月 日

実習生

大 学 名	学部・学科・専攻 研究科・専攻	学籍番号	氏 名

出席状況

実習期間	出席すべき日数	出席した日数	欠席日数	遅刻	早退
月 日から 月 日まで	日	日	日	回	回
			理由	理由	理由

事項別評価

区分	事 項（おもな着眼点）	評 価
学 習 指 導	基礎学力・知識 <small>生徒にわかりやすく伝え、説明ができ、文字が正しく書け、基礎的な知識、学力を有しているか、など。</small>	A B C D
	教材研究・工夫 <small>教材研究や授業準備に努力し、計画的に創意工夫をし、指導をおこなおうとしたか、など。</small>	A B C D
	指導態度・技術 <small>到達目標を明らかにして、すべての生徒の理解を促すよう努力し、生徒のつまづきなどの原因を明らかにしようとしたか、など。</small>	A B C D
生 徒 指 導	個別・集団指導 <small>個々の生徒および学級(HR)集団全体に着目し、問題に応じて、個別的・集団的に解決しようとしたか、など。</small>	A B C D
	生徒への関わり <small>生徒の中にとけこみ、個々の生徒をよく理解しようとしたか、など。</small>	A B C D
	教科外指導 <small>学級(HR)活動・クラブ(部)活動・課外活動等の指導を意欲的におこなおうとしたか、など。</small>	A B C D
実 習 態 度	勤務態度・熱意 <small>勤務態度が良く、教育的熱意はみられたか、など。</small>	A B C D
	事務・実務能力 <small>学級(HR)経営上の事務処理などがうまくできたか、など。</small>	A B C D
	レポートなどの提出物 <small>レポート・実習簿・研究物・書類などを主題に即して的確に記述し、期限を守って提出したか、など。</small>	A B C D
	教育的視野 <small>職場・地域などの様子を理解しようとし、自主的・協力的に教育を進めようとしたか、など。</small>	A B C D

総合評価

<p style="text-align: center;">実習生としての努力と成果に着目して、右欄のいずれかに○印をつけてください。</p> <p>A(優)：よく努力し、実習の実をあげることができた。 B(良)：努力し、実習の成果はあった。 C(可)：いままじの努力と実習の成果が望まれる。 D(不可)：全く努力に欠け、実習の成果は認められなかった。</p>	A B C D
---	---------

特記事項	
------	--

実習校

下欄の学校長（公印）には、必ず押印してください。

学 校 名	学 校 長 氏 名	実習指導教員氏名
	公印	

備考：本票の使用については、裏面の『「教育実習成績報告票」の使用にあたって』をご参照ください。
京都地区大学教職課程協議会統一様式 2024.2.27 改訂

教育実習成績報告票（養護教諭）

令和 年 月 日

実習生

大学名	学部・学科	学生証番号	氏名
京都光華大学			

出席状況

実習期間	出席すべき日数	出席した日数	欠席日数	遅刻	早退
月 日から 月 日まで	日	日	日	回	回
			理由	理由	理由

事項別評価

区分	事 項（おもな着眼点）		評 価	
保健管理	学校保健に対する理解	学校保健計画についてよく理解しているか。 学校保健活動についてよく理解しているか。	A B C	D
	保健室の運営	保健室の整備ができるか。 掲示物などを配慮することができるか。	A B C	D
	救急処置	救急処置における判断ができるか。 適切な救急処置をすることができるか。 処置に当たって適切な指導ができるか。	A B C	D
	保健行事の運営 （この項目を実習しなかった場合は評価対象外とする。）	保健行事の計画の立て方を理解しているか。 指導・助言を得て保健行事の準備ができるか。 指導・助言を得て行事を進行することができるか。 実施した行事について、指導・助言を得て結果をまとめ、報告することができるか。 以上の結果について考察ができるか。 運営に当たって教育的配慮ができるか。	A B C	D
	環境衛生活動の実践	環境衛生測定（照度・騒音・水質など）の重要性について理解しているか。 校内の環境を、安全・衛生面から検討し、考察することができるか。	A B C	D
保健指導	児童生徒への理解	すすんで児童・生徒に接し理解に努めているか。	A B C	D
	保健指導資料の作成	健康教育に関する資料の準備ができるか。 対象に適した資料を準備することができるか。	A B C	D
	保健指導（個人）	対象の児童・生徒を理解しようとしているか。 対象の児童・生徒に適した保健指導ができるか。	A B C	D
	保健指導（集団）	集団指導における保健指導の計画と実践ができるか。 委員会活動などにおいて適切な指導ができるか。	A B C	D
実習態度	勤務態度・熱意	勤務態度が良く、教育的熱意はみられたか、など。	A B C	D
	事務・実務能力	学級運営上の事務処理などがうまくできたか、など。	A B C	D
	レポートなどの提出物	レポート・実習ノート・研究物・書類などを主題に即して的確に記述し、期限を守って提出したか、など。	A B C	D
	教育的視野	職場・地域などの様子を理解しようとし、自主的・協力的に教育を進めようとしたか、など。	A B C	D

総合評価

A	B	C	D	実習生としての努力と成果に着目して、左欄のいずれかに○印をつけてください。 A（優）：よく努力し、実習の実をあげることができた。 B（良）：努力し、実習の成果はあった。 C（可）：いままじしの努力と実習の成果が望まれる。 D（不可）：全く努力に欠け、実習の成果は認められなかった。
---	---	---	---	--

特記事項	
------	--

実習校

学 校 名	学校長氏名	実習指導教諭氏名
	公印	印